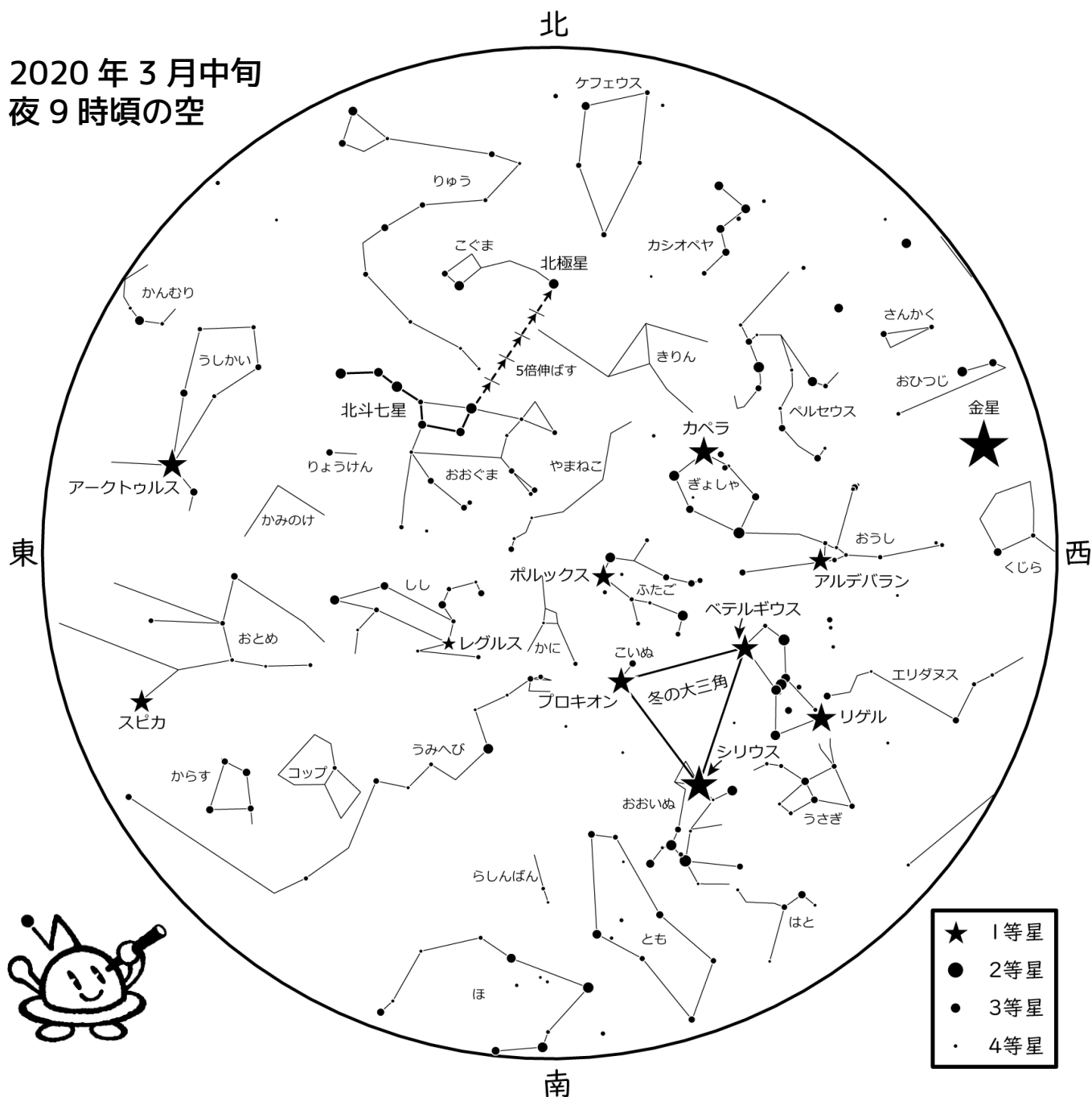


阿南市科学センター 3月の星空案内

2020年3月中旬
夜9時頃の空



3月に入って冬の星座は西の空へ傾き、夜空に春の星座が目立つようになってきました。みなさんご存知の有名な**北斗七星**は春の星座**おおぐま座**の一部で、**北極星**を探すための目印となります。

おおぐま座の南には春を代表する**しし座**があります。ししの心臓に位置する一等星**レグルス**は、全天に21個ある一等星の中で最も暗い星です。対して**おおいぬ座**の**シリウス**は、最も明るい一等星のため、見比べてみると同じ一等星でも明るさの違いが一目瞭然で分かります。一等星の最も明るい星シリウスと最も暗い星レグルスをぜひ見比べてみてください。

天体観望会の予約・お問い合わせ先

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川淵8-1 電話 0884-42-1600

◇ 月の満ち欠け

名 称	上弦の月	満月	下弦の月	新月
形 状				
見える日	3月3日	3月10日	3月16日	3月24日

◇ 惑星について

名 称	水 星	金 星	火 星	木 星	土 星
見どころ	24日に西方最大離角を迎えるが高度が低く観察は難しい。	日の入り後に西の低空で見える(宵の明星)。	日の出前に南東の低空で見える。	日の出前に南東の低空で見える。	日の出前に南東の低空で見える。
明るさ	約0等	約-4等	約1等	約-2等	約0.5等

◇ 金星を 113 cm 望遠鏡で見よう！



図1：金星
(2020年2月8日撮影)

3月は夕方西の空に**金星(宵の明星)**が見えます。金星は約-4等と非常に明るいため肉眼でも楽しめますが、113 cm望遠鏡で観望すると月と同じように欠けている様子が分かります。

地球よりも太陽に近い水星と金星を**内惑星**と言います。内惑星を望遠鏡で継続して観測すると、**大きさの変化と満ち欠けの様子**を見ることができます。

現在、金星は地球に接近中で、少しずつ大きくなりながら欠けていきます。3月25日には地球からの見かけ上、金星が太陽から東側に最も離れる**東方最大離角**となり、半月状になります。

◇ まだまだ見えるぞ！ 【M42 オリオン大星雲】

3月になりましたが、表面の星図を見ると西の空にはまだまだ冬の星座が見えていて、冬のメシエ天体の代表格**オリオン大星雲**も定期観望会で観望できます。

オリオン大星雲は星の素になるガスが大量にあるため、たくさんの星が生まれており、**星のゆりかご**とも言われます。その中心に113 cm望遠鏡を向けると、生まれたばかりの4つの赤ちゃん星**トラペジウム**を見ることができます。

空の条件が良ければ、視野の中に見える星の数も増え、ため息の出る美しさです。まだ見ていない方は、3月の定期観望会で金星と合わせてご覧ください。

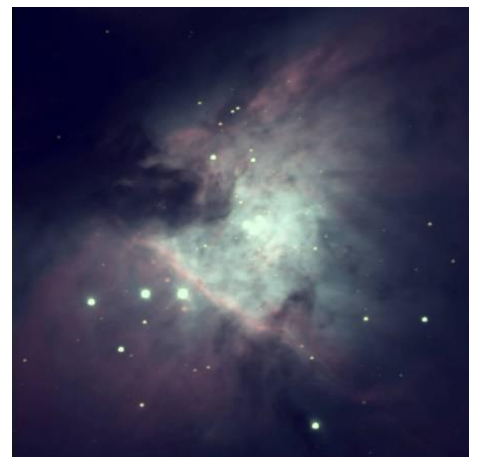


図2: M42 オリオン大星雲